

# 小1プロブレム解消のための指導方法等の工夫について

宇部市立上宇部小学校

## 学校・学年指導体制の充実

全校・同学年等で協力体制を組み、組織的に適切な支援を行う。

## 縦割り班掃除の取組



各掃除場所に担当教員が配置され、それぞれの班は1か月毎に担当する掃除場所を変更する。この取組により、1年生にとって、異学年の児童やできるだけ多くの教職員と出会ったり関わりをもったりする機会が多くなるようにした。

コミ・スクの活動の一環として、地域の方が、毎週1回、縦割り班掃除に参加しておられる。1年生は、掃除を通して、地域の方との交流も深めている。



## 成果

縦割り班掃除では、高学年の児童がリーダー性を発揮することにより、1年生の児童が異学年の児童ともうまく関わりをもてるようになった。併せて、学校への適応感も高まった。

## 同学年・低学年ブロックの取組

同学年での協議のもと、児童の思いや願いを生かした学習活動を構成し、担任が相互に連携して指導を行った。下の写真は、好き嫌いをなくすことをねらいとして行った食育の授業の様子である。



第2学年とも連携して、児童が楽しく交流できる授業を仕組んだ。上の写真は、2年生児童が生活科の授業で作ったおもちゃで遊んでいる様子である。

## 成果

第1・2学年の教員だけではなく、養護教諭や栄養教諭とも協力体制を組んで、児童の発達の段階や実態等に応じた学習指導・生活指導を行うことにより、生活上必要な習慣の定着を図ることができた。